

あなたの避難が みんなの命を救う！

問い合わせ 地域安全課 (☎27444)



令和元年台風第19号日野地区状況

災害時、避難した人のほとんどが「周りの人が避難したから」を理由に避難を決めています。だからこそ、まずはあなたから、避難を始めてください。そして避難する際には地域で声を掛け合って、早めに避難ができるよう、日頃から周囲の人と話をするなど、準備をしてください。あなたの行動が大切な人、周りの人たちの命を救うことにつながります。

避難のポイント

- ▷警戒レベル3、4が出たら危険地域の人は避難する「自分で情報収集し、危険だと感じたら避難情報が発令される前でも早めに避難する」
- ▷避難先は市が指定する避難場所だけではない「知人や親戚の家など安全な場所も避難先の候補に入れる」
- ▷安全な場所に住んでいる人は避難する必要はない「災害発生の恐れのない地域は避難しなくても大丈夫」

分かりやすい色表示

大雨の警戒レベルで5色の配色を定めました
警戒レベル **4** で **全員避難!!**

警戒レベル5	命を守るための行動を!	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとってください。
警戒レベル4	全員避難!	速やかに避難場所に避難してください。移動が危険だと判断したら自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3	高齢者などは避難!	避難に時間を要する人は避難を開始してください。
警戒レベル2		災害に備えハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1		災害への心構えを高めましょう。

新型コロナウイルス感染症対策

～自然災害と感染症の複合災害～

新型コロナウイルス感染症の発生により、自分の命を守るために通常の自然災害の発生の想定他に、自然災害と新型コロナウイルス感染症による複合災害にも注意を払わなければなりません。どのようなことに注意すればいいのか学びましょう。

可能な場合には、感染リスクを負ってまで避難場所へ行く必要はありません。浸水する可能性がない場所、土砂災害の危険がない場所では在宅避難の方が自分の身を守ることにつながります。

避難場所の運営について

避難場所への避難について
避難とは難を避けることであり、自宅などでの安全確保

避難場所では3密を防ぐために、通常時と違い、受け入れ人数を制限して対応します。危険場所に住んでいて、本当

に避難しなければならぬ人を適切に受け入れられるよう配慮をお願いします。また、避難先は市が開設する避難場所だけではありません。安全な場所に住む親戚・知人宅に避難することを検討してください。

危険箇所の把握

自分は避難するべきかどうかを事前に把握してください。ハザードマップを活用し、

自分の家や住んでいる地域の災害危険度を把握しましょう。例えば、住家の大部分が浸水してしまうのであれば積極的な避難が必要になります。安全性を確認して、自宅外へ避難するべきか、自宅にとどまっても大丈夫なのかを検討してください。自宅が浸水区域でも河川から離れており、浸水深が3メートル未満の地

域は自宅2階への垂直避難を検討してください。

避難場所での注意点

手洗い、咳エチケットなどの基本的な対策の徹底しましょう。断水などの影響がない場合には、頻繁に手洗いを実施し、マスクを着用するなど基本的な感染症対策を徹底してください。

避難のための行動5箇条

- 知る** 私たちの地域、身の回りには山や川などがあります。自分の回りにはどんな危険が潜んでいるのかハザードマップを活用し災害危険度を把握しましょう
- 学ぶ** 災害の危険がある場合に、災害のことやどのような行動をとればいいのかを普段から学びましょう
- 備える** 備蓄品だけでなく、避難の心構えや避難の仕方なども家族で話し合うなどして備えましょう
- 収集する** 台風が近づいているなど、災害の情報を収集しましょう
- 行動する** 収集した情報をもとに、自ら判断し、自分の命、大切な人の命を守るために行動しましょう



避難場所(小野小学校体育館)

避難場所への準備品は済んでいますか？

自分で使用するためのものは可能な限り自分で準備し、食料と飲料水は3日分を持参してください。風水害時の場合は、一晩で避難解除になる場合が多いので、最低でも1日分は必ず持参してください。また、新型コロナウイルス感染症対策品として下記のもの必ず持参してください。

- 主な準備品
- マスク
 - アルコール消毒液 (除菌シートなど)
 - 体温計
 - 寝具(毛布など)
 - スリッパ
 - 食料
 - 飲料水

